

# 厚地リハビリテーション病院

住所：〒892-0841 鹿児島市照国町 13-37

TEL：099-226-1288

HP：<http://www.jifukai.jp/reha/>



リハビリテーション科医師(令和4年11月現在)

責任者(指導医)：専門医・指導医 山中弘子(鹿児島大S62卒)

総病床数：54床、回復期病床：54床

訪問リハビリ 外来リハビリ

理学療法士15名、作業療法士13名、言語聴覚士6名



## 責任者からのコメント

リハビリテーション医学は患者さんにより添って社会への橋渡しをする医療です。当院では主に脳卒中亜急性期の回復期リハビリテーションを行なっています。脳卒中は重い要介護状態になる一番の要因となっています。患者さんとその家族のより良い未来のためには、私たち診療に関わる全ての職種が密な連携をとることが必要です。職場は自己研鑽の場でもあります。リハビリテーション医療を通して皆さんが社会のニーズを感じ取り、成長できるようお手伝いします。

## 研修病院としての特徴

### 1. 多彩な関連施設

道路向かいにある厚地脳神経外科病院は単科の脳神経外科専門病院です。脳外科専門医・神経内科専門医が常駐し、脳外科手術はもちろん、t-PAも積極的に施行しています。必要時はカテーテル術による血栓除去も行います。当院入院患者さんはほとんどが厚地脳神経外科病院からの脳卒中患者ですが、離島や他の急性期病院からの紹介もあります。また、同一法人内には小児リハを中心に行うクリニック、運動ジム、小規模多機能施設、認知症型デイサービス、老人保健施設、ヘルパーステーション、訪問看護、居宅介護支援事業所など地域に根差した多くの関連施設があります。

### 2. 多職種連携

リハビリテーション医学の遂行には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をはじめ、主治医、看護師、ソーシャルワーカーといった関連職種との連携が必須です。回復期は患者ごとに毎月のカンファレンスが開かれますので、入院から退院までシステマチックに学習をすることができます。退院後の患者さんには必要に応じて外来リハビリや訪問リハビリも行っています。

### 3. 積極的リハビリテーション

当院では脳卒中に対しては健側強化、促通反復療法(川平法)、ポバース理論、PNF、視覚誘導性自己運動錯覚を利用した inverted video Ttherapy(iVT)などを個々に応じて自由に組み合わせ、パーキンソン病にはLSVT-bigを行っています。また、反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)、持続低周波刺激、上肢訓練支援装置 Cocoroe、歩行解析装置 VICON、Biodexによる免荷+トレッドミルなどリハビリ機器の活用にも力を入れています。

最後に、鹿児島は本土最南端の県です。人生のほんのひと時をこちらですごしてみませんか。お待ちしております。